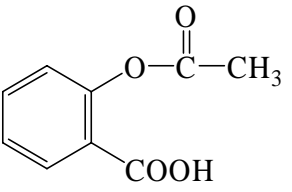
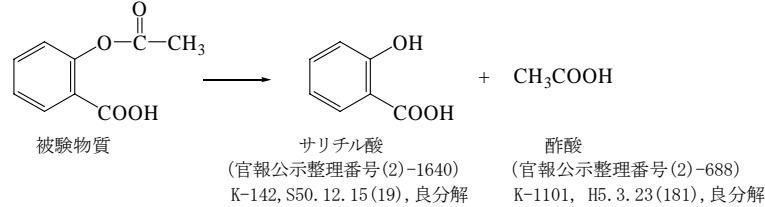
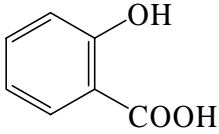
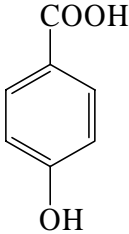
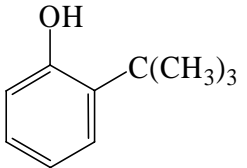


整理番号 K-1784 (NEDO 356, 3-1652)	分解度試験	分解度試験	分解度試験	
o-アセトキシ安息香酸 (50-78-2)	事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日	
	試験期間 18. 9.28~18.12. 8	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .	
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₉ H ₈ O ₄ 分子量 180.16	試験濃度	試験濃度	試験濃度	
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L	
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L	
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間	
	試験結果 間接 BOD 88, 83, 88 (86)% 直接 TOC 99, 99, 94 (98)% HPLC 100, 100, 100 (100)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度* ¹ 99.9%	外観 白色の結晶			
不純物* ¹ (物質名, 含有率) サリチル酸 0.1%以下 残りは不明	溶解度 (対水, その他) 対水* ² 4600 mg/L (25°C) 対アセトニトリル 1 g/L 以上	審査部会 第 66 回 19年 7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	
融点* ² 135°C		判定	判定	
沸点* ³ 沸点以下 140°Cで分解する。	1-オクタノール/水分配係数	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% 3. 特記事項 ・開始時に pH 調整を行った。 ・(水+被験物質)系において、被験物質は全て加水分解した。 ※試験液を直接分析機器に導入。 		
密度* ⁴ 1.4 g/cm ³				
LD ₅₀ * ⁵ 200mg/kg(ラット,経口) 250mg/kg(マウス,経口)	安定性			
IRチャートの有無 (有) ・ 無				
用途* ⁵ 適用外 (医薬品等)	2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構			
生産量* ⁵ (15年) 輸入 281 t		被験物質	サリチル酸 (官報公示整理番号(2)-1640) K-142, S50. 12. 15(19), 良分解	+ CH ₃ COOH 酢酸 (官報公示整理番号(2)-688) K-1101, H5. 3. 23(181), 良分解
試料 購入先 和光純薬工業 和光特級				
経済産業公報発表年月日 年 月 日				

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。
 *3 国際化学物質安全性カード (国立医薬品食品衛生研究所) による。 *4 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau) (Edition 2000) による。 *5 化学工業日報社 14705 の化学商品による。

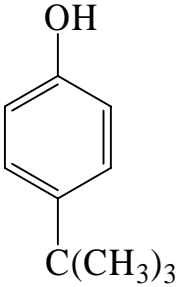
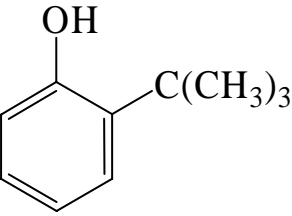
K - 1784の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC ₅₀ mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
サリチル酸 (69-72-7)		3-1640 (K-142)	標準(2W) 1975年実施 BOD 92, 85 (88) TOC 98, 97 (98) U V(295nm) 100, 100 (100) HPLC 100, 100 (100)	良分解性 (1975)				
o - メチル安息香酸 (118-90-1)		3-1285 (K-710)	標準(4W) 1984年実施 BOD 96, 91, 95 (94) TOC 94, 94, 97 (95) HPLC 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1984)				
4 - ヒドロキシ安息 香酸 (99-96-7)		3-1640 (K-1321)	標準(2W) 1996年実施 BOD 90, 91, 88 (90) TOC 99, 100, 100 (100) HPLC 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1996)	1997年実施 1.37 (フラスコ振とう法)			
o - アセトキシ安息 香酸 (50-78-2)		3-1652 (K-1784)	標準(4W) 2006年実施 BOD 88, 83, 88 (86) TOC 99, 99, 94 (98) HPLC 100, 100, 100 (100)					

整理番号 K-81C (NEDO 348, 3-0503)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
<i>o</i> -tert-ブチルフェノール (88-18-6)	事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 18. 5.23~18. 8. 3	試験期間 . . ~ . .	試験期間 . . ~ . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₁₀ H ₁₄ O 分子量 150.22	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD -3, -4, -4 (0)% 直接 TOC 35, 40, 25 (33)% HPLC 32, 39, 23 (31)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 99.9%(毛管カラム GC) 外観 黄色澄明の液体			
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 0.01% 残り 0.09%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水*2 700 mg/L (25℃) 対メタノール 10 g/L 以上	審査部会 第 66 回 19年 7月 27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*3 -7℃		判定	判定
沸点*3 224℃	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 3.74 (pH4.0) (フラスコ振とう法による予備値)	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 100%* (汚泥+被験物質)系 100%* ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 ・被験物質の一部が試験液から炭酸ガス吸収剤に移行した。 ・(水+被験物質)系及び(汚泥+被験物質)系の試験液・炭酸ガス吸収剤のGC分析において、クロマトグラム上に変化物ピークは認められなかった。	備考
密度*1 0.984g/cm ³ (20℃)			
LD50 440 mg/kg (oral, rat)	安定性*4 光により変質する。		
IRチャートの有無 (有) ・ 無	解離定数*2 pKa = 10.28		
用途*5 添加剤 (樹脂用、紙用)			
生産量*5 (16年) 製造及び輸入 10,000~100,000 t 未滿			
試料 購入先 和光純薬工業 和光一級			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。
*3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。 *4 和光純薬工業 製品安全データシート (2006/4) による。
*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K-81Cの類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
<i>p-tert</i> -ブチル フェノール (98-54-4)		3-0503 (K-81)	標準(2W) 1975年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 5, 3 (4) G C 4, 1 (3) U V(273nm) 4, 4 (4) 逆転(2W) 1975年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 2, 0 (1) G C 0, 0 (0) U V(274nm) 0, 0 (0)	難分解性 (1975)	1996年実施 3.29 (フラスコ振とう法)	4.0 (48hr)	1976年実施 1区(40mg/L): 20~43 2区(4mg/L): <48~88 脂質含有率 —	高濃縮性 ではない (1976)
<i>o-tert</i> -ブチル フェノール (88-18-6)		3-0503 (K-81C)	標準(4W) 2005年実施 BOD -3, -4, -4 (0)* TOC 35, 40, 25 (33) HPLC 32, 39, 23 (31)		2007年実施 3.74 (フラスコ振とう法)			

* 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

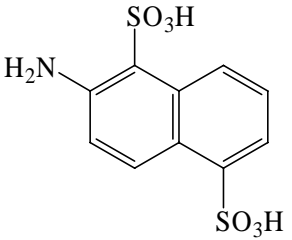
整理番号 K-762D (NEDO 353, 2-0133)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
(Z)-9-オクタデセン-1-アミン (112-90-3)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 18. 9. 14~18. 11. 28	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 $\begin{array}{c} \text{CH}_3(\text{CH}_2)_7 \\ \\ \text{C}=\text{C} \\ \quad \\ \text{H} \quad \text{H} \end{array} \quad (\text{CH}_2)_8\text{NH}_2$ 分子式 C ₁₈ H ₃₇ N 分子量 267.49	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD -3, -5, -5 (0)% 直接 GC 7, 3, 7 (6)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 82.9% 外観 無色透明の液体	溶解度 (対水, その他) 対水 10 mg/L 以下 (25℃) 酢酸エチル 10 g/L 以上	審査部会 第 66 回 19年 7月 27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 14.9℃ (凝固点として)	判定	判定	判定
沸点*3 300℃以上 密度*3 790 kg/m ³ (60℃) LD50 IRチャートの有無 (有) ・ 無	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 7.50*4	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 99% (汚泥+被験物質)系 99%	備考
用途 合成樹脂等	2. 実施機関 ・ 広栄テクノ株式会社		
生産量*5 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t 未満	3. 特記事項 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。		
試料*5 購入先 和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 GC 及び GC-MS による。 *2 和光純薬工業製品安全データシートによる。 *3 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau) (Edition 2000) による。 *4 Kowwin v 1.67 による計算値。 *5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K - 7 6 2 D の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K- 番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
1 - ベンチルアミン (110-58-7)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_4\text{NH}_2$	2-0133 (K-762A)	標準(3W) 1985年実施 BOD 72, 76, 76 (75) TOC 94, 97, 99 (97) HPLC 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1985)				
(Z) - 9 - オクタデ セン - 1 - アミン (112-90-3)	$\begin{array}{c} \text{CH}_3(\text{CH}_2)_7 \quad (\text{CH}_2)_8\text{NH}_2 \\ \quad \quad \quad \diagdown \quad \diagup \\ \quad \quad \quad \text{C} = \text{C} \\ \quad \quad \quad \diagup \quad \diagdown \\ \quad \quad \quad \text{H} \quad \quad \quad \text{H} \end{array}$	2-0133 (K-762D)	標準(4W) 2006年実施 BOD -3, -5, -5 (0)* G C 7, 3, 7 (6)					
1 - ノナデシルアミン (14130-05-3)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{17}\text{CH}_2\text{NH}_2$	2-0133 (K-762B)	標準(4W) 1986年実施 BOD 47, 76, 71 (65) TOC 96, 98, 99 (98) HPLC 95, 100, 100 (98)	良分解性 (1986)				

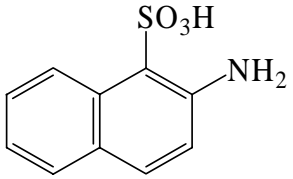
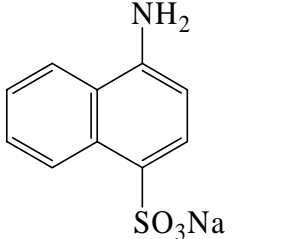
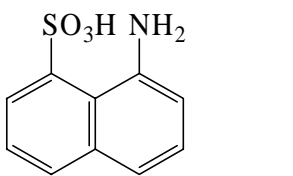
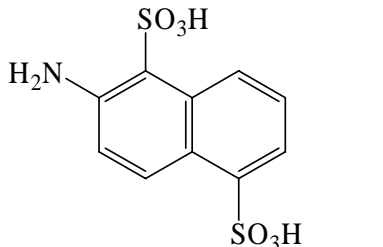
* 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。

整理番号 K-1782 (NEDO 351, 4-0501)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2-アミノ-1,5-ナフタレンジルスルホン酸 (117-62-4)	事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 18. 9.26~19. 2.28	試験期間 . . ~ . .	試験期間 . . ~ . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₁₀ H ₉ NO ₆ S ₂ 分子量 303.31	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD -1, 4, -1 (1)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 TOC 2, 8, 5 (5)% HPLC -1, -1, -1 (0)%	試験結果 直接	試験結果 直接
純度 82.0% (HPLC 及びカール フィッシャー法による。)	外観 僅かに黄みを帯びた粉末		
不純物 (物質名, 含有率) アミノナフタルスルホン酸(置換位置不明) 8.8% 水 9.2%	溶解度 (対水, その他) 対水 20.9 g/L (25°C) (フラスコ法)	審査部会 第 66 回 19年 7月 27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*1 >300°C		判定	判定
沸点 測定不可	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = -1.85*2	備考 1. 回収率* (水 + 被験物質) 系 100% (汚泥 + 被験物質) 系 100%	備考
密度 測定不可 (不純物を含むため)		※試験液を直接分析機器に導入。	
LD50*1 5,430mg/kg(oral, rat)	安定性	2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構	
IRチャートの有無 (有) ・ 無		3. 特記事項 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	
用途			
生産量 (年)			
試料 購入先 Fluka Chemie GmbH			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Data による。

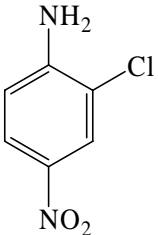
*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

K - 1 7 8 2 の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K- 番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC ₅₀ mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2 - ナフチルアミン スルホン酸 (81-16-3)		4-0493 (K-106)	標準(2W) 1975年実施 BOD 5, 3 (4) TOC 1, 1 (1) U V(280nm) 0, 0 (0) HPLC 6, 6 (6)	難分解性 (1975)	/	610 (48hr)	1976年実施 1区(5 mg/L) : <0.6 2区(0.5mg/L) : <6 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1976)
ナフチオン酸ナトリ ウム (130-13-2)		4-0492 (K-153)	標準(2W) 1976年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 0, 0 (0) U V(320nm) 0, 1 (0)	難分解性 (1976)	/	4000 (48hr)	1978年実施 1区(10mg/L) : <0.6 2区(1mg/L) : <6 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1977)
5 - アミノ - 4 - ナ フチルスルホン酸 (82-75-7)		4-0491 (K-273)	標準(2W) 1976年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 4, 4 (4) U V(248nm) 8, 2 (5)	難分解性 (1977)	/	/	2 - ナフチルアミンスル ホン酸及びナフチオン酸 ナトリウムより類推	高濃縮性 ではない (1977)
2 - アミノ - 1, 5 - ナフタレンジスルホン 酸 (117-62-4)		4-0501 (K-1782)	標準(4W) 2006年実施 BOD -1, 4, -1 (1) TOC 2, 8, 5 (5) HPLC -1, -1, -1 (0)* ¹		-1.85* ²			

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。

*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

整理番号 K-246B (NEDO 354, 3-0407)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2-クロロ-4-ニトロアニリン (121-87-9)	事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 18. 6. 14~18. 8. 25	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₆ H ₅ ClN ₂ O ₂ 分子量 172.57	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 99.7% (毛管カラムGC)	外観 黄色粉末	審査部会 第66回 19年 7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 0.1% 残り 0.2%は不明	溶解度*2 (対水, その他) 対水 0.23g/L (20°C)	判定	判定
融点*1 106.7°C	1-オクタノール/水分係数 log Pow = 1.9 (HPLC法)*4	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。	備考
沸点*2 320°C (分解) (1013hPa)			
密度*2 1.38g/cm ³ (20°C)	解離定数*5 pKa = -0.94	2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	備考
LD50*3 6,430 mg/kg (ラット, 経口) 1,250 mg/kg (マウス, 経口)			
IRチャートの有無 (有) ・ 無	3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。		
用途*6 アゾ系分散染料、顔料の中間体			
生産量*7 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t 未満			
試料 購入先 和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau) (Edition 2000)による。
 *3 神奈川県環境科学センター化学物質安全情報提供システムによる。 *4 溶離液：メタノール/りん酸緩衝液(pH8.0) (1/1 V/V) *5 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。 *6 14705の化学商品(化学工業日報社)による。 *7 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

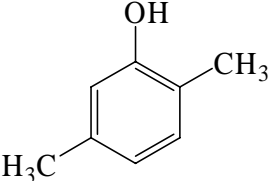
濃縮度試験 事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験					毒性試験 年月日			
試験期間 18.12.7 ~ 18.12.26					試験期間 . . . ~ . . .								
試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()			依 頼 経過			
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()								
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤						
第1濃度区					第1濃度区								
第2濃度区					第2濃度区								
第3濃度区					第3濃度区								
濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種()			濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種()						
		日後	日後	日後	日後	日後			日後	日後	日後		
第1	水槽濃度()						第1	水槽濃度()					
	倍率							倍率					
第2	水槽濃度()						第2	水槽濃度()					
	倍率							倍率					
第3	水槽濃度()						第3	水槽濃度()					
	倍率							倍率					
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催								
判定結果					判定結果								
備考 分配係数から類推 [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構					備考								

K - 2 4 6 B の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
4 - クロロ - 2 - ニトロ アニリン (89-63-4)		3-0407 (K-246)	標準(2W) 1976年実施 BOD 0, 0, (0) TOC 0, 0, (0) G C 0, 0, (0)	難分解性 (1976)	/	17.4 (48hr)	1977年実施 1区(100µg/L): 7.5~13.2 2区(10µg/L): 8.0~13.4 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1977)
2 - クロロ - 4 - ニトロ アニリン (121-87-9)		3-0407 (K-246B)	標準(4W) 2006年実施 BOD -4, -5, -3 (0)*1 TOC 4, 3, 3 (3) HPLC 1, 0, 1 (1)		2006年実施 1.9 (HPLC法)*2	/	分配係数から類推	
2, 4 - ジニトロアニ リン (97-02-9)		3-0403 (K-1176)	標準(4W) 1993年実施 BOD 0, 13, 0 (4) HPLC 7, 2, 0 (3)	難分解性 (1993)	1993年実施 1.88 (フラスコ振とう法)	/	分配係数から類推	高濃縮性 ではない (1994)
6 - クロロ - 2, 4 - ジニトロアニリン (3531-19-9)		3-0422 (K-1313)	標準(4W) 1996年実施 BOD 0, 0, 1 (0) HPLC 2, 2, 1 (1)	難分解性 (1996)	1998年実施 不適切な程度に解離 〔フラスコ振とう 法による参考値 2.20〕	16.3 (48hr)	1998年実施 1区(100µg/L): 8.1~12 2区(10µg/L): 7.6~10 脂質含有率 3.7%	高濃縮性 ではない (1998)

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

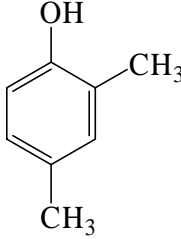
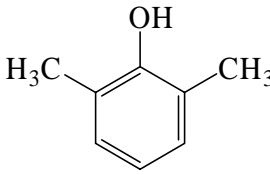
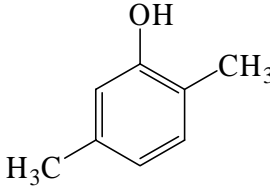
*2 溶離液：メタノール/リン酸緩衝液(pH8.0)(1/1 V/V)

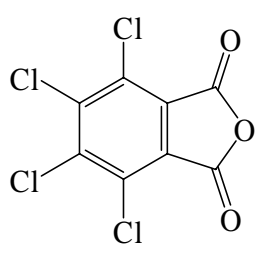
整理番号 K-1227D (NEDO 327, 3-0521)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2, 5-キシレンール (95-87-4)	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 17. 7. 25~17. 9. 29	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₈ H ₁₀ O 分子量 122.16	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 直接	BOD 0, -1, 0 (0)% TOC 2, 3, 1 (2)% HPLC 3, 2, 1 (2)%	試験結果 間接 直接
純度*1 99.5%	外観 白色微細結晶	審査部会 第 49 回 17年11月18日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 0.1% 残り 0.4%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水*2 3540 mg/L(25℃)	判定 難分解性	判定
融点*1 75.3℃	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 2.6 (HPLC法)*4	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※分解試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	備考
沸点*2 211.5℃ (762mmHg)	解離定数 pKa = 10.41*5		
比重*3 1.026 (20℃)			
LD50*2 444 mg/kg(oral, rat) 383 mg/kg(oral, mouse) 938 mg/kg(oral, rabbit)			
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途*6 添加剤(繊維用)			
生産量*6 (16年) 製造及び輸入 10,000~100,000 t 未満			
試料 購入先 和光純薬工業 和光一級			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 Hazardous Substances Data Bank(U.S. National Library of Medicine)(2/2003)による。 *3 有機化合物辞典(講談社)による。
*4 溶離液:メタノール/りん酸緩衝液(pH3.0)(6/4 V/V) *5 The Physical Properties Database(Syracuse Research Corporation)による。
*6 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験 事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験					毒性試験 年月日	
試験期間 18.11.2 ~ 18.11.14					試験期間 . . . ~ . . .						
試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()			依 頼 経過	
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()						
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤				
第1濃度区					第1濃度区						
第2濃度区					第2濃度区						
第3濃度区					第3濃度区						
濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種()			濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種()				
		日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後		
第1	水槽濃度()										
	倍率										
第2	水槽濃度()										
	倍率										
第3	水槽濃度()										
	倍率										
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催						
判定結果					判定結果						
備考 分配係数から類推 [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構					備考						

K - 1 2 2 7 Dの類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K- 番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC ₅₀ mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2,4 - キシレノール (105-67-9)		3-0521 (1227C)	標準(4W) 2001年実施 BOD 98, 84, 91 (91) TOC 99, 98, 97 (98) HPLC 100, 100, 100(100)	良分解性 (2001)	/	/	/	/
2,6 - キシレノール (576-26-1)		3-0521 (1227B)	標準(4W) 2001年実施 BOD 4, 2, 0 (2) HPLC -1, 3, 1 (1)	難分解性 (2001)	2002年実施 2.33 (フラスコ振とう法)	/	分配係数から類推	高濃縮性 ではない (2002)
2,5 - キシレノール (95-87-4)		3-0521 (1227D)	標準(4W) 2005年実施 BOD 0, -1, 0 (0) TOC 2, 3, 1 (2) HPLC 3, 2, 1 (2)	難分解性 (2005)	2006年実施 2.6 (HPLC法)	/	分配係数から類推	/

整理番号 K-1476 (NEDO 163, 3-1423)	分解度試験		分解度試験		分解度試験			
四塩化無水フタル酸	契約	13年 11月 1日	契約	年 月 日	契約	年 月 日		
[別名: 3,4,5,6-テトラクロロフタル酸無水物] (117-08-8)	試験期間	13.11.9~14.1.22	試験期間	. . . ~ . . .	試験期間	. . . ~ . . .		
	試験装置	Ⓢ・揮	試験装置	標・揮	試験装置	標・揮		
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₈ Cl ₄ O ₃ 分子量 285.90	試験濃度		試験濃度		試験濃度			
	被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L			
	汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L			
	本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間			
	試験結果	間接	BOD 0, 0, 0 (0)%	試験結果	間接		試験結果	間接
直接		TOC 0, 0, 1 (0)% HPLC 100, 100, 100(100)%	直接			直接		
純度*1 100%	外観 白色粉末		審査部会 第 1 2 回 14年 3月 22日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催			
不純物(物質名, 含有率)	溶解度(対水, その他) 対水 変化のため測定不可 対クロロホルム 1g/L以上 対メタノール 1g/L以上		判定 難分解性		判定			
融点*2 256.3℃	1-オクタノール/水分係数 log Kow = 4.65*5		備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 97.2% (汚泥+被験物質)系 94.9%		備考			
沸点*3 371℃	安定性 水中で加水分解する。		2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構		備考			
密度 測定不可			3. 特記事項 ・被験物質は試験液中で全て変化し、3,4,5,6-テトラクロロフタル酸(3-0062)を生成し、残留した。 ・後続試験は3,4,5,6-テトラクロロフタル酸で実施した。		備考			
LD50*4 >15,800mg/kg(oral, rat) >5g/kg(skin, rabbit)								
IRチャートの有無 (有)・無								
用途*6 色素添加剤								
生産量*6 (16年) 製造及び輸入 10~100t								
試料 購入先 和光純薬工業								
経済産業公報発表年月日 年 月 日								

*1 HPLCによる。 *2 和光純薬工業添付資料による。 *3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。

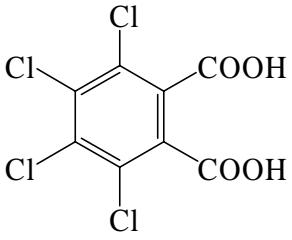
*4 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheets(11/1998-1/1999)による。 *5 Kowwin v 1.67による計算値。 *6 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験					濃縮度試験					<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>年 月 日</p> <p>試験期間</p> <p>試験装置 標・揮 LC50 値 mg/L(hr)魚種()</p> <p>水槽設定濃度 ()</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>年 月 日</p> <p>試験期間</p> <p>試験装置 標・揮 LC50 値 mg/L(hr)魚種()</p> <p>水槽設定濃度 ()</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>被験物質</p> <p>分散剤</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>被験物質</p> <p>分散剤</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>第1濃度区</p> <p>第2濃度区</p> <p>第3濃度区</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>第1濃度区</p> <p>第2濃度区</p> <p>第3濃度区</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>濃縮倍率 脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種()</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>濃縮倍率 脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種()</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>日後 日後 日後 日後 日後</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>日後 日後 日後 日後 日後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>第1 水槽濃度()</p> <p>倍率</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>第1 水槽濃度()</p> <p>倍率</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>第2 水槽濃度()</p> <p>倍率</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>第2 水槽濃度()</p> <p>倍率</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>第3 水槽濃度()</p> <p>倍率</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>第3 水槽濃度()</p> <p>倍率</p> </div> </div>				
審査部会 第 66 回 19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催									
判定結果					判定結果									
備考					備考									
変化物テトラクロロフタル酸から類推														

毒性試験
年月日

依
頼

経過

整理番号 K-1476変化物 (NEDO 163, 3-0062)		分解度試験		分解度試験		分解度試験		
テトラクロロフタル酸 (632-58-6)		契約 年 月 日		契約 年 月 日		契約 年 月 日		
		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		
		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₈ H ₂ Cl ₄ O ₄ 分子量 303.91		試験濃度		試験濃度		試験濃度		
		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		
		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		
		本試験期間 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間		
		試験結果	間接		間接		間接	
			直接		直接		直接	
純度*1 98.1% (中和滴定)	外観 白色結晶性粉末	審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 2.9%	溶解度 (対水, その他) 対水 3600mg/L (20℃)	判定		判定		判定		
融点*2 98℃	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 3.2 (HPLC法)*3	備考		備考		備考		
沸点 測定不可 (270℃付近から 淡茶色に変化)								
密度 1.760g/cm ³ (20℃)								
LD50	解離定数 (20℃) pKa1 = 1.95 pKa2 = 2.99 (滴定法)							
IRチャートの有無 (有) ・ 無								
用途*4 色素添加剤								
生産量*4 (16年) 製造及び輸入 100~1,000 t 未満								
試料 購入先								
経済産業省公報発表年月日 年 月 日								

*1 東京化成工業添付資料による。 *2 http://physchem.ox.ac.uk/MSDS/TE/tetrachlorophthalic_acid.html による。

*3 溶離液: メタノール/pH1.0 緩衝液(7/3 V/V) *4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験									
試験期間					19. 2. 9 ~ 19. 3. 6					試験期間					. . . ~ . . .				
試験装置 標・揮					LC50値 mg/L(hr)魚種()					試験装置 標・揮					LC50値 mg/L(hr)魚種()				
水槽設定濃度 ()										水槽設定濃度 ()									
被験物質					分散剤					被験物質					分散剤				
第1濃度区										第1濃度区									
第2濃度区										第2濃度区									
第3濃度区										第3濃度区									
濃縮倍率					脂質含有率					濃縮倍率					脂質含有率				
					開始前 終了後										開始前 終了後				
					日後										日後				
第1	水槽濃度 ()									第1	水槽濃度 ()								
	倍率										倍率								
第2	水槽濃度 ()									第2	水槽濃度 ()								
	倍率										倍率								
第3	水槽濃度 ()									第3	水槽濃度 ()								
	倍率										倍率								
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催										審査部会 第 回 年 月 日 開催									
判定結果										判定結果									
備考										備考									
					分配係数から類推														
					[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構														

毒性試験	
依 頼	年月日
	経過